

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2024年 第15週（4月8日～4月14日）

今週のコメント

～RSウイルス感染症～ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「RSウイルス感染症 10週連続増加」

第15週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,571例であり、前週比16.3%増であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ4.63、3.95、2.58、0.81、0.65である。

感染性胃腸炎は前週比13%増の908例で、中河内5.85、北河内5.64、南河内5.50、三島5.44、大阪市西部5.00であった。

RSウイルス感染症は16%増の774例で、大阪市北部6.86、中河内5.40、堺市5.00であり、10週連続で増加している。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は2%増の506例で、北河内3.76、堺市3.63、中河内3.30であった。

手足口病は69%増の159例で、泉州2.24、堺市1.26、大阪市南部1.00である。

流行性角結膜炎は94%増の33例で、三島1.75、大阪市南部1.50、大阪市北部1.00であった。

インフルエンザは32%減の391例で、定点あたり報告数は1.29である。堺市1.79、大阪市北部1.75、中河内1.55、大阪市西部1.40、北河内1.33であり、10週連続で減少している。

新型コロナウイルス感染症は9%減の900例で、定点あたり報告数は2.96であった。泉州3.94、大阪市北部3.70、北河内3.53、南河内3.17、堺市3.14である。

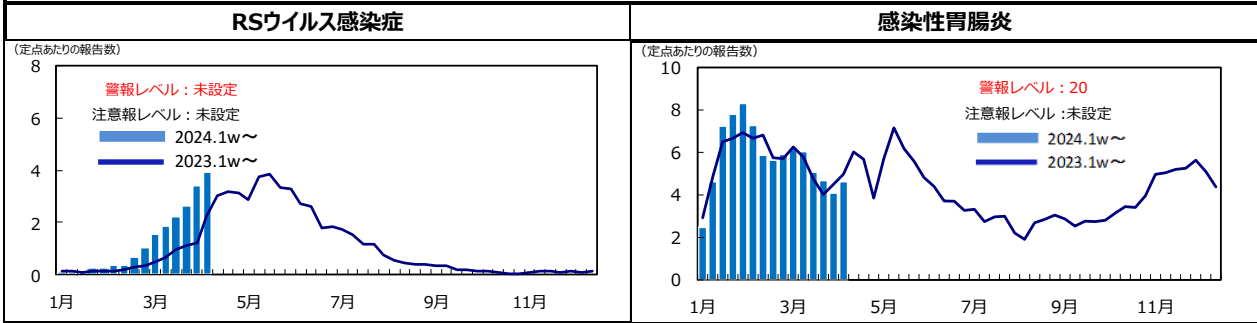


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第15週4月8日～4月14日）

第15週の順位	第14週の順位	感染症	2024年第15週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第15週の定点あたり報告数	2024年第15週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	4.63	13%増	4.92	1歳_14%
2	2	RSウイルス感染症	3.95	16%増	2.21	1歳_38%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.58	2%増	0.80	4歳_13%
4	4	手足口病	0.81	69%増	0.11	1歳_43%
5	6	流行性角結膜炎	0.65	94%増	0.14	20歳以上_64%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	1.29	32%減	0.78	20歳以上_19%
参考		新型コロナウイルス感染症 (COVID-19定点報告疾患)	2.96	9%減	-	50-59歳_11%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。

詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降(大阪府)』の情報をご覧ください。

詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)』の情報をご覧ください。

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。

2023/24年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第15週のコメント

～日本紅斑熱～ 大阪府では2023年9例の報告があった。2024年は第15週で1例目が報告されている

全数把握感染症

日本紅斑熱

日本紅斑熱は、紅斑熱群リケッチアの一種 *Rickettsia japonica* を起病因原体とし、野山でマダニに刺咬されることにより感染する。媒介ダニの活動が活発化する4月～10月に発生し、特に9月、10月は多い。自然界で保菌あるいは感染する動物として、げっ歯類、野生のシカ、イノシシなどがあげられる。潜伏期は2～8日であり、頭痛、発熱、倦怠感を伴って発症する。発熱、発しん、刺し口が主要三徴候であるが、必ずしも、刺し口があるとは限らない。発しんは、体幹部より四肢末端部に強く出現し、検査所見では、肝逸脱酵素の上昇、血小板の減少が認められる。治療には、抗菌薬投与が効果的であり、第一選択薬はテトラサイクリン系の抗菌薬である。β-ラクタム系の抗菌薬は全く無効である。

[日本紅斑熱\(大阪健康安全基盤研究所\)](#)
[日本紅斑熱とは\(国立感染症研究所\)](#)

年別累積報告数

2024年は大阪府第15週時点(1例)
全国第14週時点(4例)

年	大阪府累計	全国累計
2020	11	410
2021	7	480
2022	7	450
2023	9	500
2024	1	4

表 2. 大阪府全数報告数 (2024年 第15週4月8日～4月14日)

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
 (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】>全数把握疾患 をご覧ください。)

	疾患名 () 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1			1						24
4類感染症	日本紅斑熱	1	1								1
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3			1					2	47
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1								1	37
	後天性免疫不全症候群	1								1	28
	ジアルジア症	1								1	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1								1	19
	侵襲性肺炎球菌感染症	7				2				5	76
	水痘 (入院例)	1								1	6
	梅毒	15			2	1				12	451
百日咳	2			2						13	
結核 (2024年2月分)	結核 新登録患者数：41名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 19名) (府内累積報告数 118名、内 肺・喀痰塗抹陽性 49名)										

(2024年4月16日 集計分)